

(様式第1号)

研究No.
(記載不要)

18-文芸-2

平成18年度配分 研究成果の概要

研究名	ユニバーサルデザインの地域での実践に向けて				
配分を受けた特別研究費	文化・芸術研究センター長特別研究費			1,080	千円
研究者氏名 (代表者)	学部名	学科名	職	氏名	共同研究の場合の分担
	デザイン学部	空間造形学科	教授	古瀬 敏	国内外との連絡調整、まとめ
共同研究者	文化政策学部	文化政策学科	教授	根本敏行	地域との連絡調整、自治体施策等の検討
	文化政策学部	文化政策学科	教授	阿蘇裕矢	地域との連絡調整
発表の方法 (予定で可)	1 紀要:本学紀要で発表予定		号数	第 8 号 (2008年3月発行)	
	2 学会等での発表 学会等名:		発表日 (発表予定日)	平成 年 月 日	
	3 その他 発表の方法:文化と芸術、文化・芸術研究センターニュースレター第5号にて報告済み		発表日 (発表予定日)	平成19年3月 日	

注:配分を受けた翌年度の6月末までに提出

(研究の目的等)

大学の建学の理念として位置づけられているユニバーサルデザインを、地域での実践につなげていくため、文化芸術研究センターを中心として発信するとともに、研究グループを構築し運営していく手法を検討する。これは、平成 17 年度末にまとめられた「センターのあり方に関する検討報告書」を踏まえようとするものである。

(研究の実施方法等)

- 1) 本学の UD 研究ポテンシャルの地方自治体施策への反映方策検討
- 2) 10 月下旬に開催される国際 UD 会議への海外からの参加者を招いての講演会の開催
- 3) 静岡県、浜松市等での UD 施策検討の場への参画

(得られた成果等)

- 1) 10 月下旬に開催された国際 UD 会議への海外からの参加者を招いての UD 講演会を開催した。
- 2) 地方自治体政策のあり方検討の一環として、都市計画学会中部支部の研究会に合流し、広大な市域を持つ政令指定都市となることになった浜松市における UD のありかたについて議論した。